

LM・ブラジル高配当株ファンド (毎月分配型)

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第79期(決算日2017年8月23日) 第80期(決算日2017年9月25日) 第81期(決算日2017年10月23日)
第82期(決算日2017年11月24日) 第83期(決算日2017年12月25日) 第84期(決算日2018年1月23日)

作成対象期間(2017年7月25日～2018年1月23日)

第84期末(2018年1月23日)	
基準価額	4,100円
純資産総額	3,598百万円
第79期～第84期	
騰落率	8.5%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)」は、2018年1月23日に第84期の決算を行いました。

当ファンドは、配当収入の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

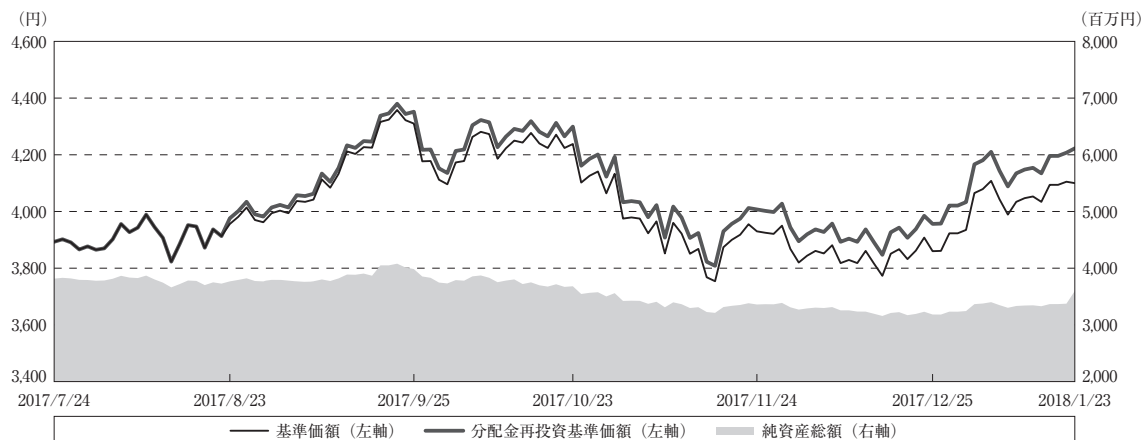
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2017年7月25日～2018年1月23日）



第79期首：3,893円

第84期末：4,100円（既払分配金（税込み）：120円）

騰落率：8.5%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年7月24日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2018年1月23日）のLM・ブラジル高配当株ファンド（毎月分配型）（以下、当ファンド）の基準価額は4,100円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラス8.5%（分配金再投資ベース）、基準価額は327円（分配金込み）上昇しました。株式要因がプラスとなったことから基準価額は上昇しました。一方、為替要因はブラジルリアル安・円高を反映し、マイナス寄与となりました。

1万口当たりの費用明細

（2017年7月25日～2018年1月23日）

項 目	第79期～第84期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	38 (18) (18) (1)	0.958 (0.460) (0.460) (0.038)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (株 式)	4 (4)	0.101 (0.101)	(b) 売買委託手数料 = 作成期間の売買委託手数料 ÷ 作成期間の 平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う 手数料
(c) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷等費用)	5 (4) (0) (1)	0.124 (0.099) (0.008) (0.017)	(c) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
合 計	47	1.183	
作成期間の平均基準価額は、3,957円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

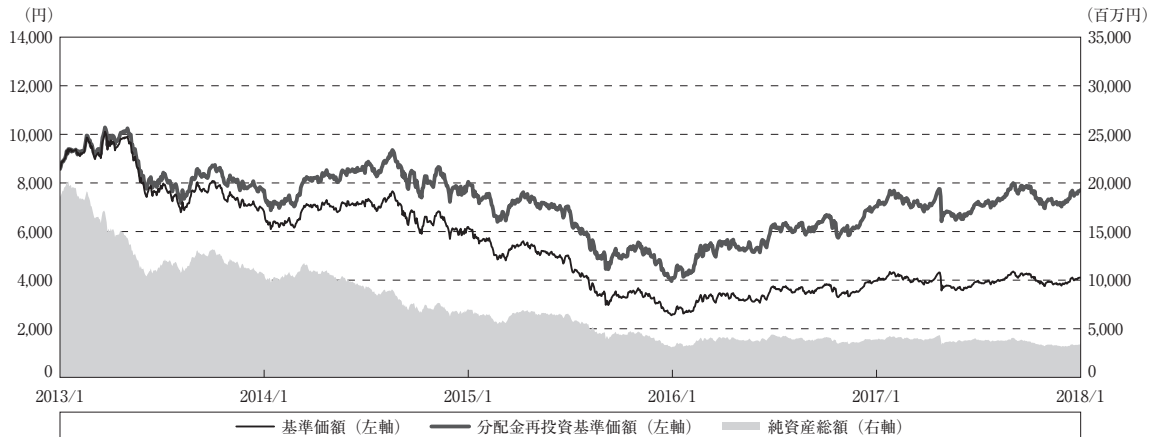
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2013年1月23日～2018年1月23日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年1月23日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年1月23日 決算日	2014年1月23日 決算日	2015年1月23日 決算日	2016年1月25日 決算日	2017年1月23日 決算日	2018年1月23日 決算日
基準価額 (円)	8,569	6,827	6,189	2,602	3,963	4,100
期間分配金合計(税込み) (円)	-	960	960	800	400	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	△ 10.2	4.6	△ 49.1	71.3	9.9
純資産総額 (百万円)	18,549	10,622	6,996	3,145	3,880	3,598

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

（2017年7月25日～2018年1月23日）

当作成期のブラジル株式市場は上昇しました。

期の前半は、汚職関連容疑によるテメル大統領の起訴が議会で否決され、政局不安がやや後退したことなどから、株価は上昇しました。また、ブラジル政府が財政立て直しのためにインフラ運営権の売却や民営化計画を発表したことや、実質GDP成長率が2・四半期連続でプラスとなり、足元の景気回復基調が確認されたことなどを好感じ、株価は上値を試す展開となりました。

期の半ばは、ブラジル経済回復への期待感などを背景に株価は一時上昇しましたが、その後、テメル大統領の2回目の起訴が下院で否決されたものの、年金改革法案の審議が難航するとの見方が強まったことなどから、株価は軟調な展開となりました。

しかし、テメル大統領が内閣改造の実施を表明し、年金改革法案成立の推進につながるとの期待感が強まったことなどから、株価はやや買い戻されました。

期の後半は、テメル政権が年金改革法案成立に必要な票数を確保できず、採決が2018年2月へと先送りされたことから、同法案成立への不透明感が強まり、株価は上値の重い展開となりました。ブラジルの格下げ懸念なども株価の上値を抑えました。しかし、その後は、ブラジルの景気回復への期待やグローバルな株高などを背景に、株価は堅調な推移となりました。

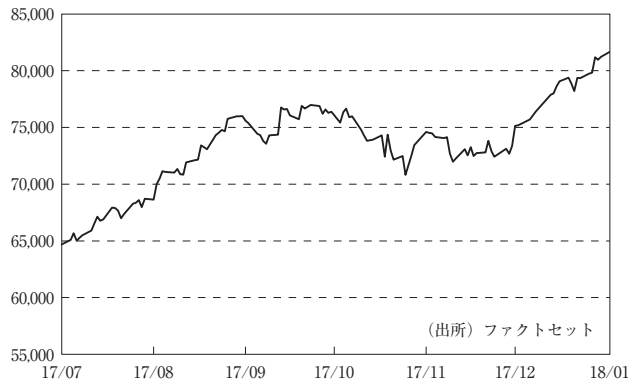
当作成期のブラジルリアル・円相場は、リアル安・円高となりました。

期の前半は、北朝鮮情勢の緊迫化を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、一時、為替市場全体で円買いが優勢となり、リアルも対円で下落しました。その後は、ブラジル政府によるインフラ運営権売却および民営化計画の発表などが好感され、また、国内景気の底堅さが意識されたことなどから、リアルは対円で次第に強含みとなりました。

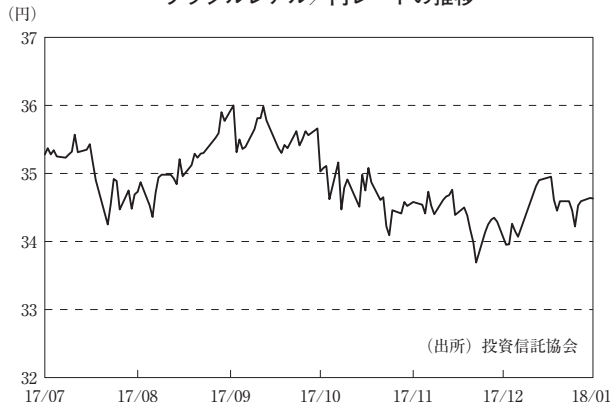
期の半ばは、テメル大統領の起訴に絡む政局不安がやや緩んだことなどから、リアルは対円で底堅く推移しました。しかし、その後、地政学リスクの高まりから投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、年金改革法案の行方に対する不透明感などから、リアル売り圧力が強まりました。

期の後半は、年金改革法案の採決への期待感からリアル買い・円売りが優勢となる場面も見られたものの、結局はテメル政権が同法案の年内採決を見送り2018年2月に先送りしたことや、ブラジルの格下げ懸念などから、リアル売り・円買いに転じました。その後は、S&Pがブラジルの格下げを発表したものの、資源価格の上昇や株高などを背景に、リアルは対円で底堅く推移しました。

ブラジルボベスパ指数の推移



ブラジルリアル／円レートの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2017年7月25日～2018年1月23日）

当ファンドは「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めます。また、組み入れ外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、高水準の配当利回りが期待できるブラジル株式への投資を行いました。

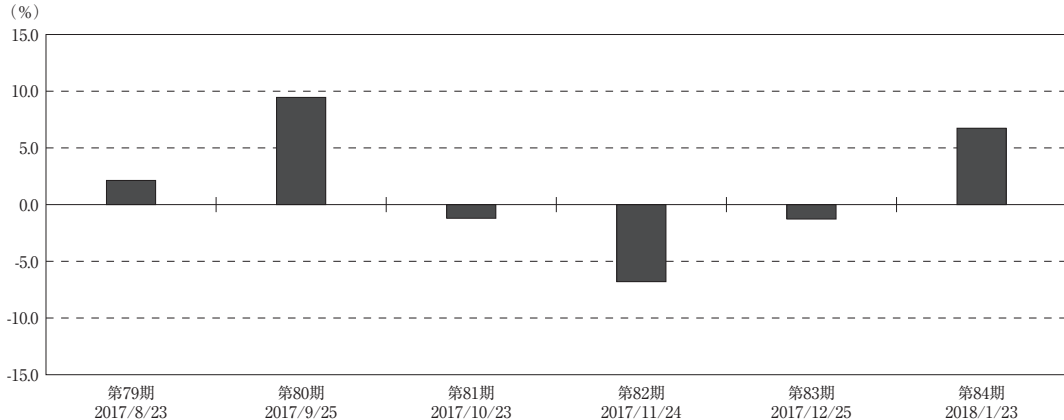
当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年7月25日～2018年1月23日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2017年7月25日～2018年1月23日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期	第84期
	2017年7月25日～ 2017年8月23日	2017年8月24日～ 2017年9月25日	2017年9月26日～ 2017年10月23日	2017年10月24日～ 2017年11月24日	2017年11月25日～ 2017年12月25日	2017年12月26日～ 2018年1月23日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.503%	0.462%	0.470%	0.506%	0.515%	0.485%
当期の収益	13	0	-	19	-	16
当期の収益以外	6	19	20	0	20	3
翌期繰越分配対象額	757	738	718	717	697	694

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

当ファンドは、主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うファンドです。引き続き、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいります。

お知らせ

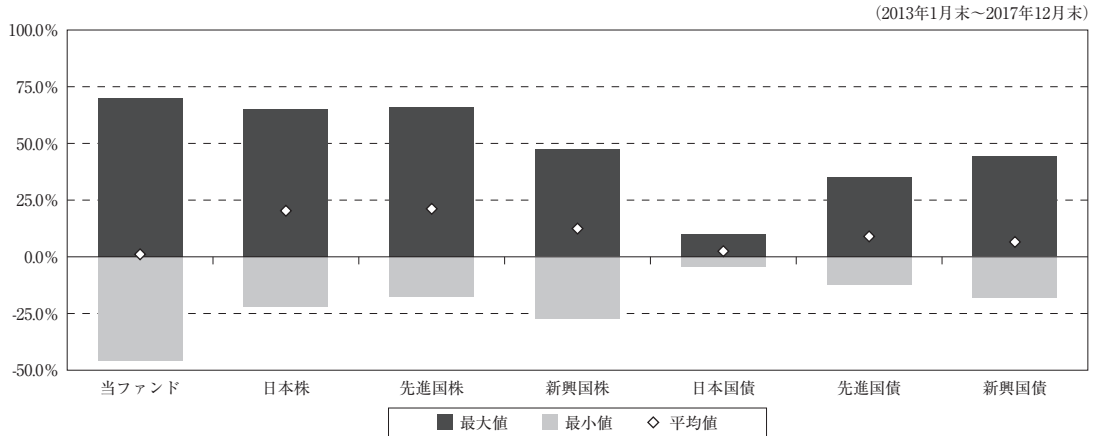
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2011年1月24日～2021年1月25日まで	
運用方針	主にブラジルの証券取引所に上場している株式に投資を行うことにより、配当収入の確保と信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	ブラジルの証券取引所に上場している株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	「LM・ブラジル高配当株マザーファンド」受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。 株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・ブラジル高配当株マザーファンド	主に配当利回りに着目し、相対的に配当利回りの高い銘柄を中心に投資します。また、銘柄の流動性に配慮しながらポートフォリオを構築します。 株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月23日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	70.0	65.0	65.7	47.4	10.1	34.9	44.1
最小値	△ 45.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	1.1	20.3	21.2	12.5	2.5	9.0	6.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年1月から2017年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

日本国債：シティ日本国債インデックス (円ベース)

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します (TOPIX: 株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス: MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス: Citigroup Index LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2018年1月23日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第84期末
LM・ブラジル高配当株マザーファンド	100.6%
組入銘柄数	1銘柄

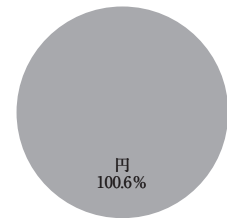
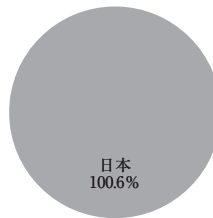
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

○資産別配分

○国別配分

○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

項目	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末
	2017年8月23日	2017年9月25日	2017年10月23日	2017年11月24日	2017年12月25日	2018年1月23日
純資産総額	3,767,403,257円	3,983,947,007円	3,681,371,018円	3,359,764,492円	3,183,301,360円	3,598,125,943円
受益権総口数	9,522,822,988口	9,243,542,934口	8,686,183,714口	8,548,189,154口	8,246,334,569口	8,775,749,116口
1万口当たり基準価額	3,956円	4,310円	4,238円	3,930円	3,860円	4,100円

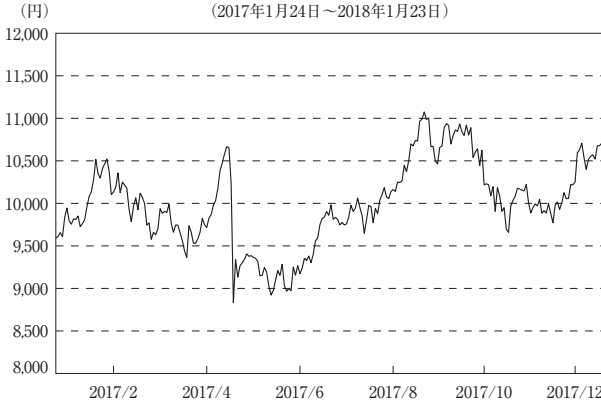
* 当作成期間（第79期～第84期）中における追加設定元本額は1,155,092,796円、同解約元本額は2,180,299,499円です。

組入上位ファンドの概要

L M・ブラジル高配当株マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年1月24日～2018年1月23日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年1月24日～2018年1月23日)

項目	期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (株 式)	21 (21)	0.217 (0.217)
(b) その他費用 (保 管 費 用)	20 (20)	0.199 (0.199)
合 計	41	0.416

期中の平均基準価額は、9,911円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2018年1月23日現在)

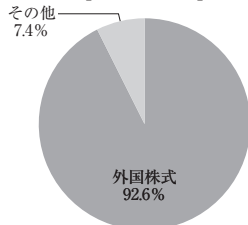
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	ITAUSA-INVESTIMENTOS ITAU-PR	金融	ブラジルレアル	ブラジル	9.3
2	TELEFONICA BRASIL S.A.	電気通信サービス	ブラジルレアル	ブラジル	6.7
3	IRB BRASIL RESSEGUROS SA	金融	ブラジルレアル	ブラジル	6.3
4	TRANSMISSORA ALIANCA DE-UNIT	公益事業	ブラジルレアル	ブラジル	6.1
5	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	金融	ブラジルレアル	ブラジル	6.0
6	BANCO DO BRASIL S.A.	金融	ブラジルレアル	ブラジル	5.9
7	KLABIN SA - UNIT	素材	ブラジルレアル	ブラジル	5.8
8	MRV ENGENHARIA	一般消費財・サービス	ブラジルレアル	ブラジル	5.8
9	ALUPAR INVESTIMENTO SA-UNIT	公益事業	ブラジルレアル	ブラジル	5.6
10	AES TIETE ENERGIA SA-UNIT	公益事業	ブラジルレアル	ブラジル	5.4
	組入銘柄数		20銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

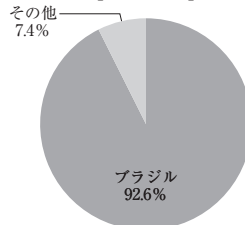
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

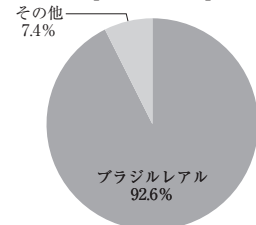
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。